

◇第10回 函館市新型コロナウイルス感染症対策本部会議

- ・開催日時 令和2年5月25日（月） 10:00～10:30
- ・開催場所 市役所8階大会議室
- ・内 容
 - 1 開会
 - 2 新型コロナウイルス感染症に係る公共施設の対応について
 - 3 その他
 - 4 閉会
- ・出席者 本部長 市長
副本部長 平井副市長，谷口副市長
本部員 34名
- ・議事要旨

○市長

- ・今日にも国の緊急事態宣言が解除される見込みだが、札幌圏で昨日15名、一昨日で8名の新規感染者が出ている状態で、油断できる状況にはない。
- ・北海道は1週間の10万人あたりの新規感染者数も全国で一番多い。解除後に札幌圏の人たちが押し寄せてくる可能性が十分ある。市民と感染が続いている地域から来る人たちとはなるべく接触を避けるよう考えていかなければならない。
- ・6月になっても引き続き、市職員には札幌、東京との往来は避けてもらいたい。今後どうなるか予測はつかないが、6月中旬までは続けなければならぬと思っている。
- ・経済対策のなかでも商品券など、6月中には難しいと思われるものもあるので慎重に判断する必要がある。7月くらいから慣らし運転をしながら、注意しながらも、なんとか日常を取り戻していけるのは8月くらいかと思っている。感染症対策も経済対策もそのような見通しで臨んでももらいたい。

○氏家病院局長

- ・今のような状況は長く続くと思う。一方で経済活動もやらないといけないので、三密を避けることや手洗いの励行など、市の施設がきちんとできているかチェックすることも大事だと思う。

○大泉保健福祉部長

- ・今後、それぞれの業界ごとに全国的なガイドラインが示されてくると思うが、並行して市の施設のコロナ対策対応のチェックについてもしっかりと対応していきたい。

○市長

- ・公共施設だけでなく介護施設などコロナ対策が必要な民間施設に対しても、関係部局がしっかりとチェックしていってほしい。